

研究主題

創り出す喜びにあふれる子どもの育成

1, はじめに

当地区では郡市教育振興会で教職員が各教科領域ごとに所属して、研修をしている。本年度は図工・美術部が重点教科に指定された。そこで、本会では9月に授業研究を実施し、会員の資質向上を図る研修に取り組んだ。

また、昨年は着物の町十日町の伝統産業に教職員や子供たちが興味関心を持ってほしいと願い、図工主任会でデザインについて研修をしたり、デザイン領域を大事にした作品づくりを奨励してきた。昨年度の雪ん子造形展では子供たちの作品がていねいに作られている手応えを感じた。

2, 事業計画

事業名	期 日	会 場	内 容
研究委員総会	4月28日(木)	中央公民館	・組織作り、年間活動計画立案 ・10名参加
研究委員会	6月28日(火)	十日町小	・研修会の内容審議 ・造形展の運営を審議
図工美術部研修会	9月12日(月)	津南小	「色のファンタジー」授業公開(4年) ・小学校中学校教師による連携指導 ・31名参加
研究委員会	11月17日(木)	十日町小	・造形展の運営審議
審査会事前準備	2月2日(木)	十日町小	・審査会、展示作業・片付けの分担等
雪ん子造形展審査会	2月15日(水)	十日町小	・横浜国大・大泉義一准教授を迎えて 審査会を実施 ・41名参加予定
雪ん子造形展展示	2月17日(金)	十日町小	・約750点の入賞作品を展示
雪ん子造形展	2月18日(土) 2月19日(日)	十日町小	・十日町雪まつりと共催し、44回雪ん子造形展を開催
後片付け	2月20日(月)	十日町小	・作品撤去

3, 主な行事

①図工の授業を公開(平成23年9月12日)

重点教科に指定され、久しぶりに図工の指導案を見ながら研修できた。小学校の4年の図工授業でデザイン領域を意識した指導内容を公開した。最近では図工指導に自信のない教員が増えていることを知り、専門的な指導を中学校の教員と連携して授業を構築した。最近では各自自治体で小中一貫教育を奨励している時期に注視すべき公開であった。

②第44回雪ん子造形展を開催(平成24年2月18日19日)

2月に十日町市で行われる雪まつりと共催し雪ん子造形展を開催している。雪まつりのメインであるカーニバル会場に近いこともあり、毎年多数の入場者を得ている。当地区では平面作品を中心に入賞作品を750点あまり展示をしている。本年度も横浜国立大学の義一准教授を迎えて審査会を行う予定である。地区の図工主任が審査会に参加し、研修を重ねている。